

介護庵

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年2月1日(16:30~17:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	松本・菊池・中澤・佐藤・鈴木・横沢

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	10人	1人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 「連絡ノート」は書式を改めます。出勤時に必ず確認し、既読と確認サインを徹底する。 「連絡ノート」への記入は、必要伝達事項があれば、その日のリーダーが記入する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 業務開始前に「連絡ノート」を確認する習慣ができ、情報共有することが出来た。 始業前に時間が無く、出勤時に確認することが出来ない時もあった。 「連絡ノート」への記入がなく情報が伝わらないこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9	2	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	9	1	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか?	4	8	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7	3	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> アセスメント等を利用し、確認してもらい状況把握をしてもらっている。 本人や家族の思いに寄り添った関りをしている。 安心できるよう優しい声掛け、相手の話しを丁寧に傾聴し、安心して利用できるような支援を心掛けた。 利用者の様子を観察し、状況に合わせた声掛けや気遣いができた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 緊急的な受け入れ時、アセスメント等の確認不足で、必要としている支援を手探りで業務遂行をしていたことがあった。 コロナ禍の影響により、家族や介護者との接触が少なく、関係作りがあまりできていなかった。 利用者を支える配慮をしているが目配り、気配りが行き届かない時もあったと感じた。 会話の少ない利用者、意思表示が少ない方からの本音の引き出しがまだまだ不十分だった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> 「連絡ノート」を引き続き活用! 小さい事でも記入し、出勤日には必ず既読し情報共有にて支援をする。 先ず利用者の思いを第一に考えましょう! 無理な思いもあるかも知れませんが、出来る範囲で思いに寄り添った支援をしましょう。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年 2月 1日 (16:30~17:00)
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	松本・菊池・中澤・佐藤・鈴木・横沢

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組めましたか？	3人	6人	3人	0人	12人

前回の改善計画	本人の状態や目標を知るには、情報の共有は必修であり、話し合ったことは記録を残し「連絡ノート」を基に情報を周知徹底する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合ったことを「連絡ノート」に記録することを心掛けた。 ・「連絡ノート」を直ぐに既読確認しない職員がいると、同じ目標に向った支援にずれが生じる時があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	8	2	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	10	1	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	9	2	0	12
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	1	5	5	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシート等の変更があった旨の「連絡ノート」の記入にて、直ぐに変更内容の確認ができた。 ・利用者の状態を把握するように情報を得る努力をしている。また知り得た情報は早急に伝えている。 ・「～したい」という気持ちに近づけるよう本人の能力に応じて、目標に添えられる様に出来るところと一緒にしている。 ・本人の思いに耳を傾け、寄り添った支援を心掛けている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の「～したい」という思いに、家族側で受け入れ困難なケースもあり、本人の思いに添えないケースもあった。 ・全員でミーティングを実施することが難しかった。 ・実践した内容の振り返りが少なかった。 ・見守りを行いながらのミーティングは難しいと感じる。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	ミーティング開催後は記録を残し参加できなかった職員には「連絡ノート」にて記録閲覧を促し、必読して情報を共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年2月5日(16:30~17:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	松本・和知・丹野・横沢・奥山・松浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	11人	0人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 「以前の暮らし方」が少しでも多く把握できるように、意識しながらアセスメントシートを確実に既読し、自宅での生活環境を理解する。 チームが寄り添った支援で利用者に安心をもたらし、個々の声にならない声を察し言語化できる支援を心掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントシートを既読することで情報を共有し、チームでの支援を心掛けた。 情報を確認することは出来たが、確実に把握するまでに時間も必要であると感じる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	2	2	8	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか？	6	6	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できますか？	1	6	4	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	8	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できますか？	4	8	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 体調変化には優先的な対応をチームで心掛けている。 本人の思いや身体状況を把握するよう心掛けている。 利用者の状態変化に気付いた事は、看護師に報告し連携を図っている。 「連絡ノート」で情報が共有されていたので、本人の状態の変化に対応できた。 本人にやる気を引き出す支援を心掛け、自立支援に取り組んでいる。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 職員個々の情報収集の時間差から、情報の共有が不十分と感じるときがある。 情報収集不足から、「以前の暮らし方」を10個以上把握するには時間も掛かった。 日々の業務に追われ時間確保が出来ず、利用者個々のミーティングが少なかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> 「以前の暮らし方」が少しでも多く把握できるように、意識しながらアセスメントシートを確実に既読し、自宅での生活環境に合わせた支援に繋げる。 情報共有によりチームが寄り添った支援で、利用者に安心をもたらし個々の声にならない声を察して、言語化できる支援を心掛ける。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年2月6日(16:30~17:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	松本・菊池・中澤・丹野・横沢・松浦・櫻村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	9人	1人	1人	12人

前回の改善計画	アセスメントシートは数多くの情報が含まれている。引き続き細かな情報収集にて作成を行い、全職員が既読と確認サインを徹底し、チームが同じ方向で支援ができる体制を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	アセスメントシートから知り得た情報を基に支援に取り組めた部分もあるが、必要な民生委員や地域の資源の理解不足や活用不足を感じた。また、個々の情報の捉え方から、チームで同じ方向を向いていないと感じる時もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	7	4	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	5	6	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2	4	6	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	2	6	4	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシートや会話を通じて、本人の今迄の生活をイメージすることが出来た。 ・本人や家族とコミュニケーションを多く持つようになっている。 ・地域との関りが途切れないように、近所の方や民生員の方と話をするよう心掛けている。 ・隣の悠久の里へ入所されている利用者の方は、接する機会が多く生活スタイルは理解している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・漠然とした地域資源は思い浮かんでも、本人にどのように活用してあげたら良いのか？で終わってしまっている事がある。 ・利用者の家族や地域の方と関わる機会少なく、地域資源等の情報不足を感じた。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	アセスメントシート等の情報や本人の思いより、自宅で生活を続けるために必要な地域資源とは何かを理解することにも要点を置き、チームで支援ができる体制を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年 2月 7日 (16:00~16:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	松本・菊池・中澤・鈴木・長谷川・樋村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	9人	2人	0人	12人

前回の改善計画

アセスメントシートは数多くの情報が含まれている。引き続き細かな情報収集にて作成を行い、全職員が既読と確認サインを徹底し、チームが同じ方向で支援ができる体制を作る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・アセスメントシートから知り得た情報を基に地域資源を使っての支援に取り組めたケースもあった。
- ・直接地域資源に関わる事がなかったと感じた。
- ・アセスメントシートの確認が遅れてしまい、後から気付く時があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	7	3	2	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	7	0	1	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	3	9	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか？	6	6	0	0	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人の状態に合わせて、柔軟な支援を心掛けている。
- ・体調不良等状態の変化があれば、家族への連絡や通院介助を柔軟に行っている。
- ・気分転換にドライブ等、その日の状況やニーズに応じた支援をしている。
- ・地域資源を調べ、必要に応じて活用するようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域資源への関わりが少なく、活用する機会がなかったと感じた。
- ・ミーティング等へ参加するタイミングが少なかった。
- ・知り得た地域資源の活用方法が見出せず、活用が出来なかつた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

アセスメントシートや連絡ノートには、多くの情報が含まれている。全職員が既読と確認サインを徹底し、チームが同じ方向で支援ができる体制を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年2月9日(16:30~17:00)
------------------	-----	-----------------------

6. 連携・協働	メンバー	松本・菊池・中澤・佐藤・和知・横沢・樺村
----------	------	----------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	6人	2人	3人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 外部の活動イベント情報を集め、少數の利用者でも参加する。 関係各所との会議へ参加される職員は限られている現状のため、参加した職員は会議内容の報告を行い情報の共有をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 以前は少數の利用者でも参加するイベントがあったが、以前に比べコロナ過の影響によりイベントは減ってしまった。 会議へ参加された方からの会議資料を共有することが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	1	4	7	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	3	8	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	0	3	9	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	1	4	7	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> お隣の悠々の里の方が来られ、談話をしながらお茶を飲まれたりする時がある。 サービス機関との対面での会議は少なくなっているが、文章等にて連携が途切れない工夫を行っている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 立場上その他のサービス機関との会議へは参加していない。 コロナ過の中、法人のお祭りも中止となってしまい、外部の活動やイベント参加もなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> 関係各所との会議へ参加される職員は限られている現状のため、参加した職員は会議内容の報告を行い情報の共有をする。 今後コロナも5類へと変わり、外部の参加可能なイベントを全職員で提案し、利用者のニーズに合わせて参加するイベントを増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 2月 10日 (16:30~17:00)
------------------	-----	----------------------------

7. 運営	メンバー	松本・佐藤・合津・奥山・松浦・櫻村
-------	------	-------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか？	0人	6人	4人	2人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 利用者や家族を支えるために、事業所の在り方について繰り返しミーティングを行い、チームが同じ方向で支援ができる体制を作る。 引き続き運営推進会議の場で、施設サービス内容を発信していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の在り方を伝える場面はあったが、ミーティングの機会が設けられなかった。 コロナ過の影響で運営推進会議開催することができなかつた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	2	6	3	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	4	5	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	2	7	3	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	3	3	6	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 利用者からの意見や苦情に対して、改善対応することが出来ている。 苦情になり得る情報が入った時は、報告に徹している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の在り方についてミーティングの機会がなかった。 地域と交流の場が少なく、協働した取組みには繋がってない。 伝わって来ない苦情もあったと思うが、苦情の内容によっては改善に時間の掛かる苦情もあった。 運営推進会議開催することができなかつた。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> 利用者や家族を支えるために、事業所のあり方についてミーティングを行い、チームが同じ方向で支援ができる体制を目指す。 今後、運営推進会議を開催し、施設サービス内容や事例報告を発信し、事業所のあり方について理解を深める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 2 月 16 日 (16:30~17:00)
------------------	-----	-------------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	松本・和知・横沢・長谷川・櫻村
-----------------	------	-----------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか？	0人	2人	7人	3人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、職場外研修へ参加したのは一部の職員であった、今後職員体制を強化し職場外研修への参加増加を目指す。 ・法人全体の職場内研修への参加率（現在 6割程度）をさらに上げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修への参加は一部の職員になってしまったが、研修内容を報告し情報の共有に努めた。 ・コロナ過の影響で法人全体の職場内外研修が中止となってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	5	2	3	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	4	6	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	2	10	12
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	1	5	4	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・リスクマネジメントを常に頭に入れて、介護に従事している。 ・オンラインにて職場外研修へ参加させていただき、研修内容の報告を行うことができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職場外研修に参加していない。 ・時間がなくスキルアップに取り組めなかった。 ・地域連絡会には参加していない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・さらなるケアの質向上を目指すため、今後職場外研修への参加をバックアップする。 ・地域連絡会に機会があれば参加をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年 2月17日(16:30~17:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	松本・佐藤・丹野・奥山・松浦・櫻村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	2人	6人	3人	1人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 介護の基本は大切と再認識し、不適切ケアに繋げないために、研修への参加等により繰り返し学び、さらなるケアの質向上を目指す。 成年後見制度の研修を活かし、今後携わる方に必要性があれば的確に助言をし、救済に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 介護職員としての自覚を持ち、利用者第一に考え常に相手の身になった支援を心掛けた。 成年後見制度を利用された方はいなかつたが、家族へ制度の内容を説明することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10	2	0	0	12
②	虐待は行われていない	11	1	0	0	12
③	プライバシーが守られている	2	8	2	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	4	8	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	8	1	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束、虐待は職員が意識をしっかりと持っており行っていない。 ・プライバシーを守るように心掛けている。 ・言葉遣いは常に気を付けている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・話し合いが大きな声になってしまい、呼名が出て話している事があった。 ・成年後見制度を利用していない。 ・他職員の言葉遣いが気になる時があったが、注意できなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・介護の基本は大切と再認識し不適切ケアに繋げないために、いかなる利用者も人生の先輩と敬い、気持ちに寄り添った介護に徹する。 ・成年後見制度の研修を活かし、今後携わる方に必要性があれば的確に助言し救済に努める。	